

区自治協議会の課題に関する部会検討について

1. 検討依頼

○事務局からの提案項目や、委員アンケートで課題意識が高かった項目等について、部会単位で検討をお願いしたい

<検討依頼項目>

- ア：区民アンケートについて ※事務局提案項目 必須
- イ：区民ニーズの把握方法について（区民アンケート以外）
- ウ：自治協議会の認知度向上について
- エ：委員研修に盛り込むことが望ましい内容について
- オ：その他（他に特に検討したいものがあれば）

- ・実際に活動等に取り入れていくかどうかについては次期委員の考えも必要になるため、検討は「決定」するのではなく「意見交換」の形で行い、できるだけ多くの意見を次期委員に引き継ぐこととしたい（8期振り返り資料に掲載）
- ・1部会1項目を選択（アは必ず選択されるようお願いします）
- ・12月～2月に開催される部会のうち、任意の1回で意見交換を実施

2. 検討依頼項目の補足事項

ア：区民アンケートについて ※事務局提案項目

○意見交換の際のポイント

- ・仮に実施する場合、どのような目的や考え方が望ましいか
- ・実施すべきかどうか（必要かどうか）

目的・考え方の例	想定頻度	アンケート内容の方向性
区ビジョンの中間見直しや次期区ビジョン策定の参考	4年毎	区民生活全般にわたる広い内容 比較的長期の展望を見据えた内容
区づくり予算事業の内容検討の参考	2年毎 4年毎	過去事業の評価 今後の事業に対する希望調査
特定テーマに関する区民意識、区民ニーズの把握	任意	「〇〇〇〇」の活用・在り方について ※区固有の施設、自然、文化、など

○実施方法のイメージ

- ・特色ある区づくり予算（自治協議会提案事業）による実施を想定
- ・中学生以上から無作為抽出した対象者に実施（2000人～4000人）
- ・アンケート内容は各区自治協議会が設定
- ・実施目的等の説明で自治協の存在や活動内容をPR
- ・回答の集計は業者委託

イ：区民ニーズの把握方法について（課題意識 2 位）

○意見交換の際のポイント

- ・日頃、委員として地域の声・情報をどのような場面で入手しているか
- ・日頃から委員に情報が集まる仕組みは考えられるか
- ・自治協議会として区民ニーズを把握するには（ア：「区民アンケート」以外で）

○参考

- ・会長会議における主な意見
「委員は地域の代表であり地域のニーズを把握していることが望ましい」

ウ：区自治協議会の認知度向上について（課題意識 1 位）

○意見交換の際のポイント

- ・認知度が高いことのメリット、低いことのデメリットは
- ・どのような人に認知されることが重要か
- ・どのような取り組みで認知度を上げていくのが望ましいか

○参考

- ・自治協認知度（H30）：

名前も活動内容も知っている	12.3%	} 45.7%
名前だけ知っている	33.4%	
- ・会長会議における主な意見
「認知度を課題とする必要があるか疑問」
「認知度を上げることを目的とした取り組みにあまり意味はない」

エ：委員研修に盛り込むことが望ましい内容について（課題意識 4 位・5 位関連）

○意見交換の際のポイント

- ・委員として活動していて困ったことはあったか。どのようなことか
- ・委員としてもっと知りたいと思ったことは
- ・検討や話し合いを行う上で、どのような技術を身に着けたいか

○参考

- ・会長会議における主な意見
「自治協議会の位置づけや役割をもっと深く理解すべき」
「市（区）の予算や地域の課題についてもっと深く理解すべき」

オ：その他

- ・ア～エ以外に特に検討（意見交換）したいことがあれば自由にテーマを設定